

環境調査結果のお知らせ

平成27年2月9日午前10時20分から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は10.9~14.2℃で、前回調査時(H27.1.9)と比較して全層で1.5~2.5℃低下していました。塩分は28.7~31.7で、前回調査時と比較して表層と2m層で0.1~0.5降下し、1m層で0.3上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は9.1~9.4mg/lで、前回と比べて全層で0.6~1.0mg/l増加していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は3.3mでした。

検鏡の結果、珪藻類が殆どでしたが、ヘテロシグマ・アカシオとミリオネクタ・ルブラがわずかに確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.1.9)	
			差(今回-前回)
0m	10.9	12.4	▲ 1.5
1m	11.6	13.3	▲ 1.7
2m	13.0	15.5	▲ 2.5
B-1	14.2	15.9	▲ 1.7

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.1.9)	
			差(今回-前回)
0m	28.7	28.8	▲ 0.1
1m	29.5	29.2	0.3
2m	30.8	31.3	▲ 0.5
B-1	31.7	31.7	0.0

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.1.9)	
			差(今回-前回)
0m	9.4	8.7	0.7
1m	9.3	8.7	0.6
2m	9.2	8.4	0.9
B-1	9.1	8.1	1.0

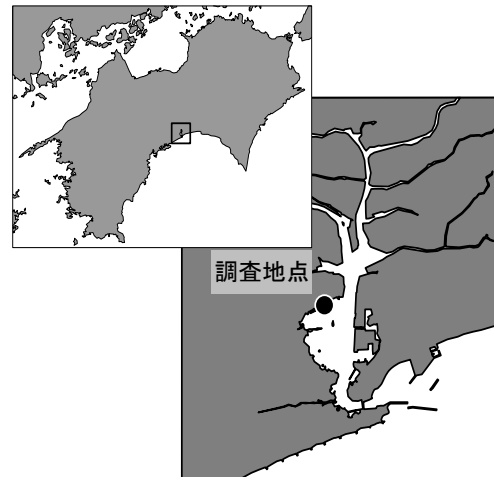


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.7	3.9
透明度	3.3	3.3

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ミリオネクタ・ルブラ	珪藻類	
0	0	0	160	
1	1	1	100	
2	3	0	480	

漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ミリオネクタ・ルブラ: 10cells/ml(貝類の赤変化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>